

さあ新しい学年だ ～学校にまつわる漢字～

学

學

もとの字は學で、爻と臼と冫と子とを組み合わせた形。爻は交差した木。臼は左右の手で教え導く意味。冫は屋根の形。屋根に交差した木のある校舎の形に、臼と年少の子を加えて「まなぶ」の意味となる。

ガク
まなぶ

音を表すのは交。交は足を組んで立っている人を正面から見た形。校は、屋根に交差した木を組んで作った建物のことをいう。古い時代に、子どもたちを教育するための建物であった。

校

校

コウ

仲

仲

音を表すのは中。兄弟の順序でまん中の子の意味。「なか」の意味であるが、日本では仲間のように人間関係をいう時に使う。兄弟の順序は、殷では大・中・小といい、周では伯・仲・叔・季という。

チュウ
なか

止と人（儿）とを組み合わせた形。止は足跡の形で、古い字形は之（足跡の形で、行くの意味）と同じで、行くの意味。人の上に止を加えて、行くという意味を強めて、「ほかより先に行くこと、先頭に行くこと」の意味となる。「さき」の意味に使う。

先

先

セン
さき



コク
くに



もとの字は國で、口と或とを組み合わせせた形。或は口（都市を囲んでいる城壁の形）のまわりを戈（長い柄に横向きに刃をつけた武具）で守る形で、國のもとの字。さらに大きな囲いをつけた國は、武装した国の都をいう。のちに、「くに」の意味に使われるようになった。

言と一とを組み合わせせた形。言は神に誓って祈る言葉をいう。言の下の部分の祝詞の器を示す 日 の中に、神の応答を示す一を加えた。神は、その応答の音によって神の訪れを示した。それで、音は「おと」の意味となる。



オン・イン
おと・ね



カツ



音を表すのは舌。舌のもとの字は昏で、小さな刀（氏）で 日（神への祈りの文である祝詞を入れる器の形）を突き刺し、その祈りの効果を失わせることで、けずるという意味がある。突き刺してけずる時の音を活活という。また、水が勢いよく流れる音も活活という。活とは、勢いのある力をいい、「いきる」の意味に使われる。

音を表すのは反。金文は、木に対して手に持った斧を加えている形で、木をけずり取ることを示し、うすくそぎ取った木片を板という。「いた、ふだ」の意味に使う。



ハン・バン
いた